

令和元年度 自己評価および学校関係者評価結果書

学校法人富士見学園 富士見幼稚園

1 幼稚園の教育目標

元気な子・・・のびのび遊ぶ・友だち大好き
 <心の豊かな子> がんばる子・・・力いっぱい工夫して最後までやり遂げる
 優しい子・・・物を大切に作る・人としての優しさ

2 本年度重点目標

基本的な生活習慣を意識しながら、家庭と連携して各学年にあわせた援助や指導を、丁寧に行う。
 友達や保育者と関わる中で、子ども達が主体性をもって自発的に活動や遊びに取り組む。
 地域の自然に触れながら、のびのび身体を動かして遊ぶ。

3 教職員による、評価項目に対する自己評価

令和2年2月20日

評価項目	教職員自己評価	自己評価結果
1保育の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や活動において、主体性をもってじっくり取り組めることを目標に計画を立ててきた。今子ども達が夢中になっている活動は出来るだけ優先させるようにしている、教師自身も臨機応変に対応できるよう心掛けてきた。 ・日々の保育の振り返りから問題点や、反省点を保育計画に生かすようにしてきた。 ・幼稚園から小学校へ円滑にスタートができるよう全職員と確認し合いながらアプローチカリキュラムを作成した。教師自身がより10の姿を意識できるようになった。 	A
2保育のあり方、 幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発達課題が違うことを踏まえながら、その子に合った言葉かけや視覚教材を用意するなどして丁寧に対応してきた。適切な言葉かけで子どもの姿が変わった。 ・室内環境に配慮してきた。子どもの遊びが偏らないように、また最近の姿から室内の玩具等の入れ替えを心がけてきた。 ・子どもが主体的に活動できるよう教師は心にとめ先導することを控え、子どもと一緒に考えながら活動を進めることで、教師も楽しさを感じた。子ども達から「もっとこうしたい」などのアイデアが広がり、子ども同士の対話も活発になってきた。 	A
3教師としての資質 能力、良識、適正	<ul style="list-style-type: none"> ・同学年の担任同士が連携を深めながら進めてきた。活動の進め方や、やっておくべき事前準備等、気づいた事や思っていることなども発言し合い、自分からも行動を起こすようになってきた。 ・経験のある職員も経験の少ない職員の新しい発想を認め、今までの良いところは残しながら新しい方法も取り入れるようにした。 ・教師間で情報交換を密にし、みんなで子ども理解につなげていった。偏った見方でなく様々な方向から子ども達を見守り、子どもの小さな育ちや成長を感じとってきた。 	A
4保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談ごとは自分だけの判断だけでなく、周りの先生方にも伝え適切な対応を心がけた。 ・生活習慣について園での様子を伝え、習慣ついていないトイレの自立等の生活習慣は家庭と連携を取りながら、その子の状況に沿って支援し、家庭にも啓蒙してきた。 ・保護者の方へ怪我やトラブルだけでなく、子どもの頑張りやエピソード、生活習慣についてこまめに伝えてきた。できるだけネガティブにならないよう言葉に気をつけて対応するよう努めてきた。 	A
5地域の自然や 社会とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・園の周りは自然が豊かである。四季折々子ども達と出掛け自然物に触れ、持ち帰った木の葉など様々な形で活かして遊んでいる。室内では味わえない、戸外のすがすがしい空気に触れ心身ともに解放感を味わえるよう保育計画に組み込んできた。 ・教師自身も地域の行事、催しに積極的に参加し、地域の方との触れ合い交流を通して地域の皆様とつながりがもてた。 ・地域の防災訓練に幼稚園として参加させて頂き具体的に学びまた園に消防士を招き職員全員で蘇生法を実際に学んだ。 	A
6研修と研究	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の合同研修会で、お互いに公開保育を見たり見せ合ったりして、意見交換し合い、講師から指導を頂き、具体的な気づきが多くを学べた。今年度は知的あそびをテーマにせず、ことばあそびに取り組んだ。子ども達が興味をもち楽しめるよう工夫した。実際に講師に見て頂き、より遊び方の幅が広がった。 ・カウンセラーの先生より、子どもの対応の効果的な方法を具体的に指導頂き保育に活かしてきた。また指導を受けた者だけに留めることなく、全員の職員に学んだことを報告し職員全員で共有した。 ・園内研修として幼児期に育みたい資質・能力「幼児期のおわりまでに育って欲しい10の姿」のねらいを5歳児後半に達成するために幼児が身につけるための援助、指導方法等も取りあげ表に現して、学年ごとの育ちの姿をまとめ意識し合った。 	A

4 改善方策及び年度以降に取り組む課題

子ども達が主体的に関わる保育体制であるための指導計画の見直しをしていきたい。

基本的な生活習慣について学年も踏まえ、一人一人丁寧な検証を進め、その子の状況に合わせ目標をもち家庭と連携を取り支援していく

5 教職員自己評価項目に対する学校関係者評価 理事長 八木悦子 園長 井上恵子 令和2年3月17日

評価者：学校法人富士見学園富士見幼稚園学校関係者評価委員		
評価日：令和2年2月27日		
評価項目	学校関係者評価委員会	評価点
1保育の計画性	<p>*子ども達の主体性を先生方が意識して保育している事を参観でも感じ取ることが出来た。子ども達のその時の興味関心を断ち切らないように心がけ、子ども達が充実して遊び込める環境を大切にしていることが子ども主体に繋がっていくのだと思う。計画は絶対的でなく柔軟に考えていることは良いと思う。</p> <p>*小学校につなげるアプローチカリキュラムの作成をしていることは、子ども達の発達の姿が、浮かび上がり一人一人の発達課題が持ててよいと思う。小学校につながる10の姿はそれぞれの学年からの積み重ねであるので職員間でしっかり共有し合っ て欲しい。</p>	A
2保育のあり方、 幼児への対応	<p>*先生方は一人ひとりの子ども理解を大事にして、その子にあった援助をしていることは、子ども達にとって大変幸せなことであり、その子の今後の成長につながっていくことである。その子その子にあった言葉かけや方法を用いることで子ども達に変化が見られると思うので、結果を職員間で共有し活かし合うことがより丁寧な支援に繋がっていくと思う。</p>	A
3教師としての資 能力、良識、適正	<p>*教師間の連携の取り方がとても良いと思う。クラス単位であっても同じ幼稚園児であるので、その時期のふさわしい経験等は互いに意識し合うべきであると思う。今後も意見を交わしながら進んでいくことが大切だと思う。</p> <p>*経験年数の多い者がとかくリードしやすいのだが、お互いに良いところを認め合っ ていける環境にあることが、互いに高め合えることに繋がると思う。是非、ここの幼稚園のよさは消さず、新鮮な空気も取り入れながら実践をしていって欲しい。</p>	A
4保護者への対応	<p>*保護者対応では、自分の思いをしっかり持ちながらも、他の先生に相談してみる事は良いと思うので、今後もお互いに教師間の風通しをよくし合っ て欲しい。</p> <p>*幼児期の基本的な生活習慣は子ども自身の生きる力となっていくので大切なことである。家庭と園とで連携し合い、その子の成長段階に合わせ支援して欲しい。</p>	A
5地域の自然や社会 とのかわり	<p>*まだまだ園の周りは自然に恵まれ、子ども達は幸せである。先生方は室内、屋外とバランスを考えて保育をしているように思う。戸外は室内とは違う開放感を味わい身近な公園に行き、戸外の空気、空の色、雲の形、昆虫、植物などの自然物に触れ、子どもなりに何かを肌で感じながら遊んでいるように思う。</p> <p>*先生方が自主的に地域の行事等に参加させてもらうことは、園を理解して頂くことにも繋がっていくので、今後も機会を見て参加をして欲しい。</p>	A
6研修と研究	<p>*講師の先生を招き、他園と研修会ができることは理想的である。実際の保育を見せ合い、互いに感想や思いを伝え合ったり講師からの指導を受け得たものは確かなものとして残っていくと思う。今後子どもの状況に合わせ活かせるよう努力して欲しい。</p>	A

*評価結果の表示方法 A…十分成果があった B…達成された C…取り組んだが達成が十分ではなかった D…取り組みが不十分であった